

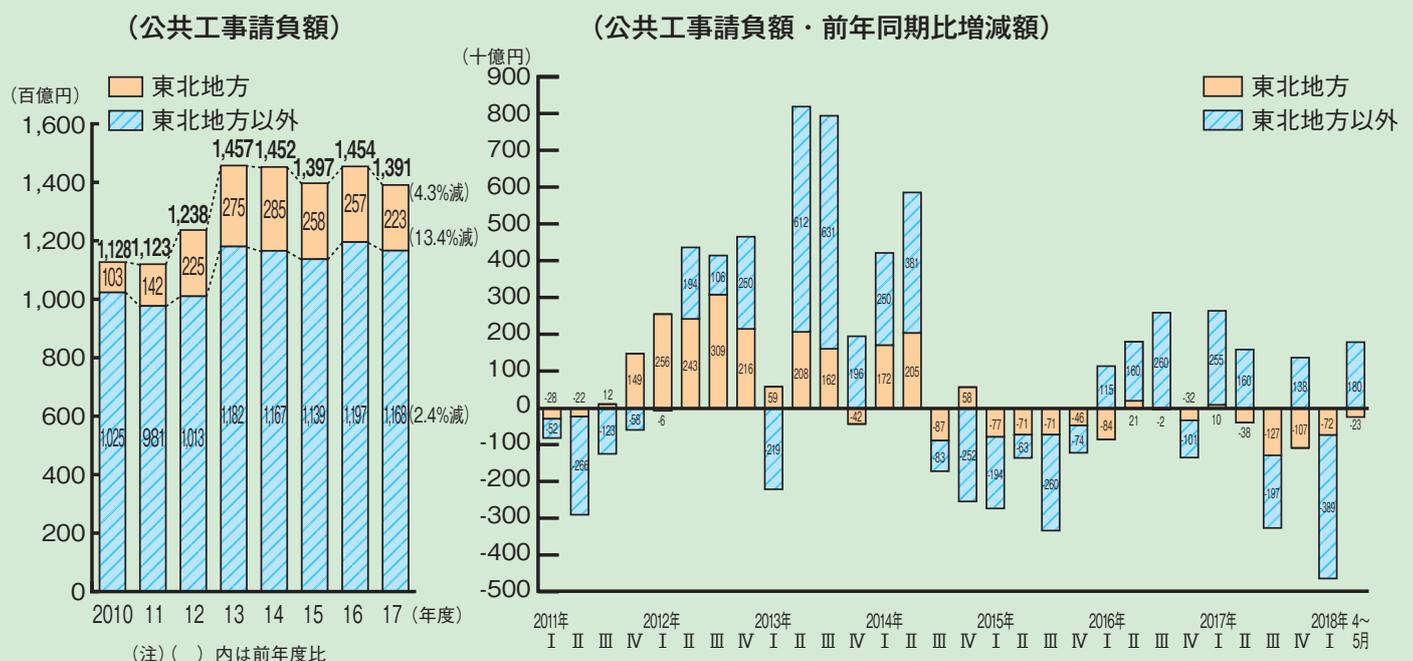
》東北地方の建設投資



資料出所：国土交通省「建設投資見通し」

東日本大震災後、復旧・復興需要を背景に東北地方における建設投資が増加した。特に土木投資の増加が顕著であり、震災から8年目となる18年度においても高水準の見通しとなっている。

》東北地方の公共工事

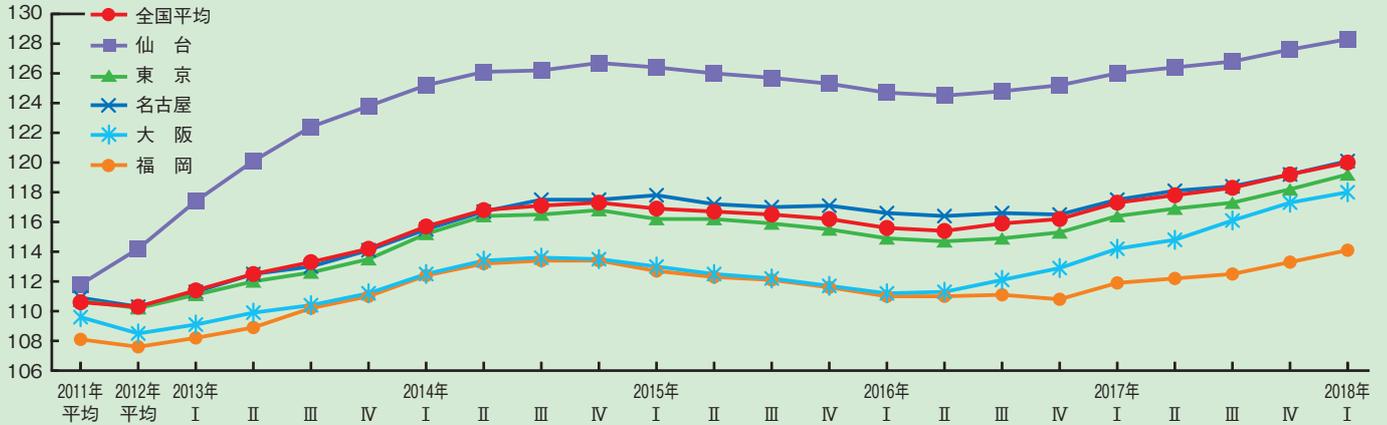


資料出所：北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

減少傾向が続いていた公共工事は、震災復旧工事の本格化により、2011年度を底に増加に転じた。東北地方の公共工事請負額は、2014年度に2兆8,500億円まで増加し、その後減少に転じたが、2017年度は2兆2,300億円と依然として高水準である。



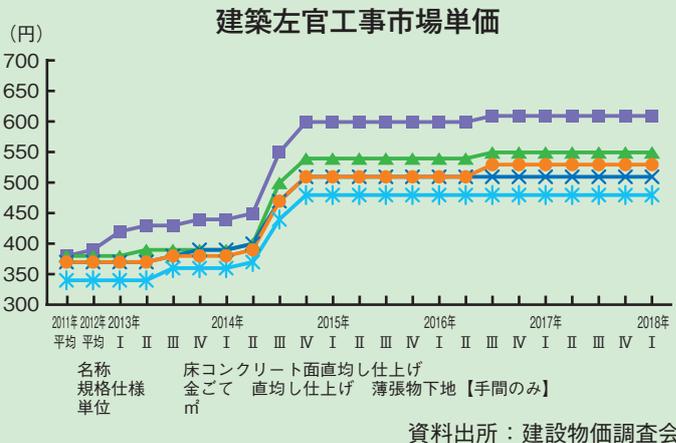
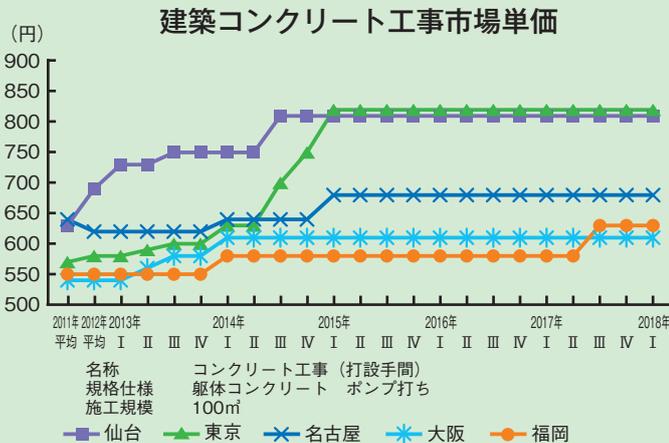
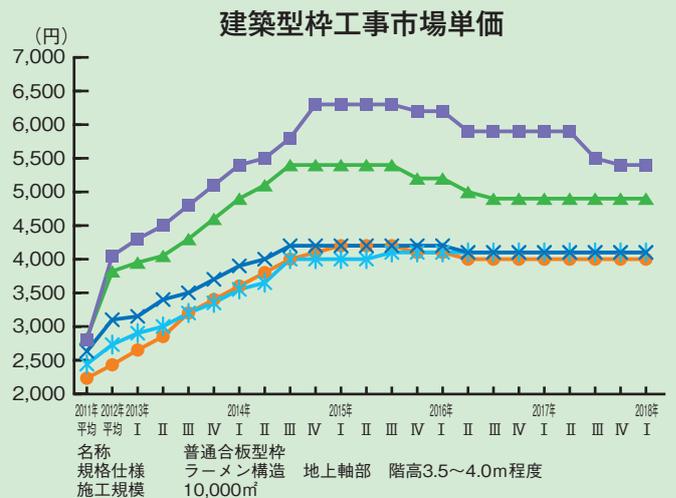
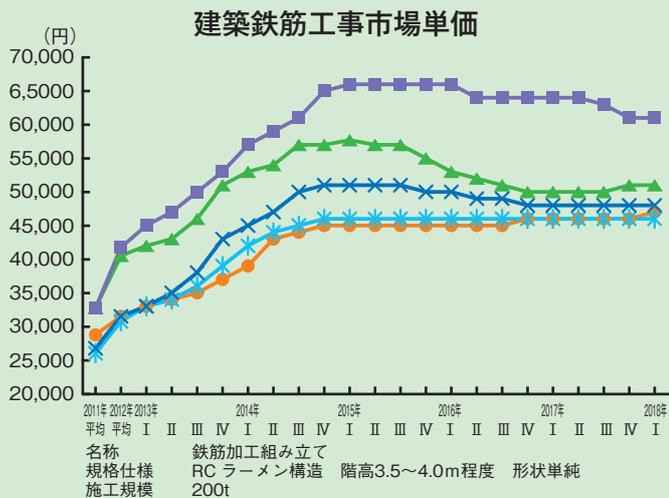
》 都市別資材価格指数



(注) 建設資材物価指数：各都市2005年平均=100

資料出所：建設物価調査会

》 都市別工事市場単価



資料出所：建設物価調査会

復旧・復興工事の増加に伴い、東北地方を中心に建設資材価格の上昇が続いてきたが、15年に入り資材価格は下落するとともに、建築市場単価も横ばいに転じた。16年に入って、資材価格は再び上昇に転じたが、建築市場単価は左官工事では上昇しているものの、コンクリート工事では横ばい状態、鉄筋工事や型枠工事では下落気味となっている。